



真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4  
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.62



**市民と市政のかけ橋になりたい！**  
 ☆お気軽にお声をかけて下さい。  
 お友達との井戸端会議もお伺いいたします。  
 もちろんあなたのアイディアを市政にいかしたい！  
 お気づきの点がございましたら、どんなさいなことでも結構です。  
 ぜひご意見を！

「見逃した！」という方に  
**バックナンバーをお送りします**

次回発行予定期  
**2月3日(日)**  
 次回の「中村かずひこ通信」は  
 発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧下さい。

## 9月定例議会報告 9/3▶9/27

9月定例議会が、3日(月)から27日(木)の25日間にわたって行われました。

### 26議案を審議・可決

今回、執行部から提出された議案は、平成29年度の一般会計・特別会計・水道事業会計決算のほか、工事請負契約(市役所新庁舎の建設工事、電気設備工事、機械設備工事)、各小中学校に配置する電子黒板等機器の取得など計26件で、各常任委員会での審議を経て、いずれも原案通り可決されました。



### 質疑・一般質問、決算審査特別委員会

議員による質疑・一般質問は、10日(月)と11日(火)の2日間行われ、今回は7名の議員が登壇し、執行部の考え方をただしました。

また、25日(火)に開催された『決算審査特別委員会』では、シティプロモーション推進事業や生活保護、道路の維持管理など、26項目について4名の議員が質疑を行いました。



### 東海第二原発関連の請願、一部採択

そのほかに、市民から提出されていた『東海第二原発の運転期間延長に関する請願書』については一部採択とし、再稼働に反対する意見書を市議会として独自に作成。それを全会一致で採択しました。なお、この意見書については、地方自治法に基づき、国や茨城県、原子力規制委員会に送付しました。

多数のご参加ありがとうございました！

## 議会報告会・意見交換会を初開催

真岡市議会では、今年4月に『議会基本条例』を施行。これに基づき『議会報告会』の実現に向けて、6月から『議会報告会運営チーム』のメンバーが中心となって、準備を進めてきました。

10月29日(月)午後7時から青年女性会館において、真岡市議会としては初めてとなる『議会報告会・意見交換会』を開催し、当日は約80名の方々にご参加をいただきました。

第1部の議会報告会では、議員側から『市議会の仕組み』、『議会改革・活性化の取り組み』、『平成29年度決算報告・平成30年度主要事業』について説明。その後、第2部では参加者と議員達が4グループに分かれ『防災対策』と『子育て・教育』という2つのテーマについて、車座方式による意見交換を行いました。

多くの方々にご参加をいただき、本当にありがとうございました。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は、これからの議会活動における政策立案に活かしていきたいと考えております。



# 新庁舎建設工事が始まる

完成は2020年  
7月の予定

現在の市庁舎は、昭和32年に建設されたもので、老朽化や耐震性の問題、狭隘化による市民サービスの低下などが、長年指摘されてきました。こうした中、市では平成23年9月から新庁舎に関する議論をスタートさせ、26年1月に基本構想を発表。

そして、今年10月11日(木)に、新庁舎建設工事の安全祈願祭と起工式が執り行われました。

## 市役所の現状



本庁舎 昭和32年10月完成（築61年）

### その他の庁舎の完成年

水道庁舎	昭和35年	建設部棟	昭和50年
教育委員会棟	昭和38年	二宮コミュニティセンター	平成9年
公民館	昭和49年	福祉・産業部棟	平成21年

### 問題点

- ・鉄筋コンクリート耐用年数の50年を超過
- ・大地震による倒壊の恐れ
- ・度重なる電気設備、給排水の故障
- ・狭隘化による市民サービスの低下 など

## これまでの流れと今後の予定

平成23年9月～	行政内部の『庁舎建設検討委員会』において基本構想について話し合われる（計12回開催）
26年1月	基本構想を発表
6月～	市民40名が参加した『庁舎建設検討市民会議』において基本計画について話し合われる（計5回開催）
27年3月	基本計画を策定
28年5月～	市民40名が参加した『新庁舎建設市民会議』において基本設計について話し合われる（計5回開催）
29年3月	基本設計が完成
30年3月	実施設計が完成
10月	新庁舎建設工事安全祈願祭・起工式

### 新庁舎建設スケジュール



## 建設費用

総額 約**76億6,000万円**  
(建設工事、外構工事、現庁舎解体工事として)

その内訳は…

◆合併推進債 68億9,400万円

そのうち40%（約27.6億円）が普通交付税で措置

◆庁舎建設基金 7億6,600万円

総額では約45億円あり、残った基金は推進債の返済に充当

◆一般財源 0円

ただし、将来的には推進債から建設基金を差し引いた額が支出見込み



なぜ、  
このような  
お金の  
使い方を  
するの？

「庁舎建設基金」より「合併推進債」  
をフルに活用した方が国による普通  
交付税措置の増額（13億円程度）が  
見込めるためです。

### 完成イメージ



新庁舎の外観デザインは、縦糸と横糸を紡ぐ真岡木綿をイメージしています。

# 中村かずひこ活動日誌

## 7月

- 1日 栃木県消防協会芳賀支部消防団操法大会
- 2日 あいさつボランティア
- 3日 とちぎ次世代研究会研修会
- 4日 夏祭り町会連合会報告会
- 6日 交通安全協会連絡協議会総会
- 7日 真岡自然観察会会計監査
- 8~10日 総務常任委員会行政視察（北海道北広島市、室蘭市）
- 11~12日 全国地方議会サミット2018（於：東京都・早稲田大学）
- 13日 会派代表者会議
- 市議会だより編集委員会
- 鹿嶋・宇都宮間国道昇格期成同盟会会計監査
- 17日 清清セミナー（於：東京都・日本青年館）
- 19日 栃木県市議会議長会
- 20日 地域共助活動ふれあいサポート会議
- 21日 夏祭り始祭
- 22日 真岡自然観察会総会・バス研修（於：群馬県中之条町ほか）
- 23日 県南6市議会議員親善ゴルフ大会
- 24日 栃木県議会県土整備委員会現地調査対応（於：茂木町）
- 26日 農業振興地域整備促進協議会
- 27日 真若宵宮
- 27~29日 真岡の夏祭り
- 30日 グレンドーラ市姉妹都市締結30周年記念式典  
真岡市大花火大会



7/30 グレンドーラ市姉妹都市締結30周年記念式典

## 8月

- 1日 高田まち  
夏祭り町会連合会笠抜き
- 2日 関東若手市議会議員の会研修会（於：山梨県山梨市）
- 3日 栃木県市町村トップセミナー（於：宇都宮市）  
真若直会
- 4日 鶴田・八條・西田井区合同防災訓練  
八月の会「今、次世代に伝えたいこと」  
東郷団地夏祭り  
栃木SC「真岡市民デー」
- 7~8日 全国若手市議会議員の会総会・研修会（於：福岡県北九州市）
- 9日 会派代表者会議  
議員協議会
- 10日 花いっぱい運動審査
- 15日 栃木県戦没者追悼式（於：宇都宮市）  
真岡の灯ろう流し
- 18日 大谷の夏祭り  
もおか木綿踊り
- 21~22日 議会活性化等検討委員会行政視察  
(神奈川県茅ヶ崎市、東京都立川市)
- 24日 さくら市議会報告会を見学（於：さくら市）  
知的障がい者育成会主催「スポーツ教室」  
やまさわの里納涼祭
- 25日 ときわ町商店会夜店市  
尊徳夏祭り
- 27日 会派代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会
- 30日 質疑・一般質問調整会議  
秋の交通安全県民総ぐるみ運動推進代表者会議
- 31日 花火大会実行委員会直会



8/4 鶴田・八條・西田井区合同防災訓練

## 9月

- 1日 知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム  
あいさつボランティア
- 3日 9月定期議会開会  
芳賀郡市議長会
- 6日 芳賀地区広域行政事務組合定期議会  
体育協会長杯ゲートボール大会
- 7日 「全国いちごサミット㏌もおか」実行委員会
- 8日 真岡西中学校運動会  
真岡東中学校運動会  
真岡中学校運動会
- 9日 真岡青年会議所創立50周年記念式典  
質疑・一般質問1日目
- 10日 会派代表者会議  
議会運営委員会
- 11日 質疑・一般質問2日目
- 13日 民生文教常任委員会1日目
- 14日 民生文教常任委員会2日目
- 15日 市長杯グラウンド・ゴルフ大会
- 16日 真岡西小学校運動会  
龜山小学校運動会  
真岡小学校運動会
- 18日 真岡東小学校運動会  
総務常任委員会1日目
- 19日 総務常任委員会2日目
- 21日 真岡青年会議所総会  
秋の交通安全県民総ぐるみ運動街頭指導  
交通安全祈願祭
- 23日 熊倉4区敬老会  
明治大学公共政策大学院「ホームカミングデー」（於：東京都・明治大学）
- 25日 決算審査特別委員会  
市議会だより編集委員会  
議員研修会（新芳賀赤十字病院、神鋼真岡発電所視察）
- 27日 9/25 議員達による新芳賀赤十字病院視察  
会派代表者会議  
議会運営委員会  
議員協議会
- 9月定期議会閉会



9/25 議員達による新芳賀赤十字病院視察

特集  
その2

# 全国いちごサミット in もおか に向けて

2020年3月13日(金)～15日(日)開催決定!!

現在、真岡市では『全国いちごサミットinもおか』の実行委員会を結成。2020年3月の開催に向けて準備を進めています。

このサミットは、いちごの生産が日本一である真岡市を全国に発信し、その知名度とブランド力の向上を図ることはもちろんのこと、全国でいちごに関わる人・地域が連携することにより、いちご産業全体の持続的な発展と消費拡大を促進することを目的としています。



9月7日に行われた実行委員会の様子

## サミット開催中のスケジュール(予定)

3月13日(金)	前夜祭<レセプション>
14日(土)	●イベントサミット<ステージライブ/いちご・加工品の展示・販売など> ●ビジネスサミット<記念式典/基調講演/分科会/パネルディスカッション>
15日(日)	●イベントサミット ●生産地視察・見学・県内観光



## シンボルマーク



テーマである「人」「街」「世界」が  
①広がる様子を表す  
いちご日本一の真岡を王冠で表現

リボン同士が重なり合い、いちごを形作る  
②真岡市そして日本中のいちごの産地が結び合い  
無限大に飛躍するイメージを表現

## 今年度のPR事業

・東京都PRイベント  
(1月14日 JR有楽町駅前)

・横浜ストロベリーフェスティバル2019  
(2月1日～11日 横浜赤レンガ倉庫)

・もおか“いちご”フェスタ2019  
(3月17日 井頭公園ほか)

ご存知でしたか?

## 廃校利活用事業者を公募中です

2018年 12月26(水)日まで



真岡市では、今年4月に廃校となった、旧山前南小、旧東沼小、旧中村東小、旧中村南小の校舎や体育館の利活用を希望する事業者を、現在公募しています。

(締め切りは12月26日)

今回、申し込みができるのは、建物の管理・運営について参入を希望する民間事業者だけでなく、建物の一部を何かの形で活用したいと考えている一般市民の個人・団体も対象となっておりますので、ご希望の方はお早めに市の担当までご連絡ください。

なお、廃校の利活用方法については、事業者の公募、廃校利活用選定委員会の設置、プレゼンテーションなどを経て、年度内を目処に決定される予定です。

お問い合わせ

真岡市企画課管財係  
(公募要項を配付中です)



0285-83-8103

まで

## アンケートにご協力を お願いします

「市政アンケート」皆様の声をお聞かせ下さい。

下のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函  
(投函する際、切手は不要です。)

321-4390

103

料金受取人払郵便

真岡局承認

769

差出有効期間  
2020年8月4日  
まで  
(切手不要)

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行



## 市政アンケート

差し支えなければ、お名前、ご住所等もご記入ください。

お名前	
ご住所	(〒 - - )
お電話	
Eメール	

公開しました!

## 政務活動費の使途をホームページ上で公開

真岡市議会では、これまで『議会活性化等検討委員会』の中で、議会改革や活性化の方策を議論してまいりました。

その一環として、政務活動費の使途の透明性・公開度を高めるため、平成29年度分から各会派(無会派の議員を含む)の収支報告書、領収書、視察・研修会等報告書について、市議会のホームページで公開を始めました。

今後も議会のメンバーが一丸となって、市民に開かれ、分かりやすい議会づくりに努めていきたいと考えております。





1. 総務常任委員会視察  
— 7月8日~10日 —

視察地：北海道北広島市、室蘭市



北広島市

北広島市では市議会の議場システムを視察。同市は、新庁舎が昨年5月に開庁したばかり。議会内でも平成25年から『庁舎建設特別委員会』が設置され、その中で議会棟や議場システムのあり方も議論をされてきた。

インターネット中継システムや議場のバリアフリー化など、市民の視点にたった設えは、今後参考とすべき点である。

また、個人的に興味を抱いたのは『委員会室』の広さ。北広島市議会の常任委員会は、1つ1つの委員会の開催日が分けられている。これは、自分が所属していない委員会も、傍聴する議員が多いため。そうした議員の意識の高さも心配させられた次第。



室蘭市

『消費生活センター』は、購入した商品のトラブルや、近年急増している特殊詐欺への対応など果たすべき役割は大きい。

室蘭市の消費生活センターの特筆すべき点として、他の機関とのしっかりと連携が挙げられる。地元の包括支援センターや警察署などと定期的な会合を重ね、市民からの被害相談や新手の手口などの情報を、関係機関で共有する体制を整えた。

平成29年度、室蘭市民が契約を結び、その後トラブルに発展した1,100万8,389円のうち93.80%は、未然防止・クーリングオフ・返金などにより回復に至っている。

2. 議会活性化等検討委員会視察  
— 8月21日~22日 —

視察地：神奈川県茅ヶ崎市、東京都立川市

※この視察は、議会運営委員会、議会報告会運営チームと合同で行いました。



茅ヶ崎市

同市の議会改革は、平成17年に『インターネット中継』を始めた頃から本格的にスタートした。『議会基本条例』については平成23年4月に施行。

この条例に基づいて行われる『議会報告会』は、毎年春と秋に開催されている。各常任委員会で意見交換のテーマを設定する方法をとっている。市民との意見交換を経て、最終的に執行部に対する政策立案につなげている点は『議会報告会』として理想の姿に近い。

そのほか、各常任委員会で自由討議を積極的に取り入れていることや、決算審査で議会が独自に事業評価を行っていることは、真岡市議会でも今後取り入れていきたいと感じた部分である。



立川市

立川市の議会改革は、平成13年に『第1次検討会』が設置されてから継続的に行われてきた。

全国でも高い評価を受けているのは『タブレットやプロジェクターの活用』。一般質問を行う際などに活用し、市政の課題について議員間での情報共有化を進めている。

今回の視察テーマからは少しそれが、立川市議会が実施している『災害対応マニュアルの策定』や『小中学生を対象とした社会科見学』などについても、個人的に興味を抱いた。

また、今回の視察をした2つの市議会で共通しているのは、一般質問を行なう議員の多さ。いずれも28名の議員がいるが、毎回20名前後が登壇し、一般質問をしているという。

今回の視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。  
※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。  
※議員日当(3,300円×3日)の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

総額	86,340円	出所	議会費のうち旅費
内訳	交通費、宿泊費、議員日当		

今回の視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。  
※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。  
※議員日当(3,300円×2日)の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

総額	35,250円	出所	議会費のうち旅費など
内訳	交通費、宿泊費、議員日当		

『このハガキではスペースが足りない!』という方は、メールでもご意見を受け付けております。

↓tonpei@i-berry.ne.jp 全て中村が読ませていただきます。

キリトリ線---

市政アンケート

未来の真岡を  
こうしよう!

私が考える  
真岡の課題…

真岡にはこんな  
魅力がありますよ♪

あなたの声をお聞かせください!

キリトリ線---



## コラム すーむあうぱ

前号のコラムで、金子みすゞさんの詩の一節『みんなちがって、みんないい』という言葉をご紹介した。そして、議会も『みんなちがう』からこそ、その持ち味、強みを発揮できるというお話をさせていただいた。

9月定例議会が開会する直前の8月23日、真岡市議会に『東海第二原発の運転期間延長に関する請願書』が提出された。これは、市内在住で子育て中の女性を中心とした『ふるさと真岡を守る親の会』によるもの。市内外から3,600名を超える署名を集め、東海第二原子力発電所の運転期間延長に反対する意見書の提出を、真岡市議会に対して求めたものだった。3名の議員も請願の紹介者として名を連ねた。

真岡市議会では、9月19日に行われた総務常任委員会で審議を行い、提出者などからも意見を聴取した。そして、27日の閉会日に採決を行い、請願書については一部採択とし、再稼働に反対する意見書を市議会として独自に作成。それを全会一致で採択した。なお、意見書については、内閣総理大臣や茨城県知事、原子力規制委員会など8つの機関に、10月3日付けで送付された。

## 山を越え、谷を越え——一步歩歩。

このように時系列で淡々と説明すると、あたかも市議会での議論がスムーズに進んでいったように映るかも知れない。しかし、決して容易なものではなかった。原発の問題は、政治的に大変デリケートで、各政党の主張も大きく異なる。そうした中で、総務常任委員会はもちろんのこと、各会派や議員個々の間でも、公式・非公式を問わず『この案件にどう向き合うべきか?』相当の議論を重ねていった。

確かに『請願を一部採択』と聞くと、市民の声を一部分しか受け止めないように感じる方もいるかも知れない。しかし、請願の内容を読むと、意見書の趣旨や提出を求めた相手先などについて、疑問点が存在したのも事実。市民の想いを受け止めつつ、各議員が原発に対するお互いの考え方の違いを認めながら『もっと良い方法があるのではないか』というところまで踏み込んで議論を深めて導き出したものであり、議会として胸を張れる結果だと私は考えている。

さて10月29日には、真岡市議会として初めてとなる『議会報告会・意見交換会』を開催し、約80名の方々にご参加いただいた。

これまで『議会報告会運営チーム』のメンバーが中心となって準備を進めてきたが、私達の予想をはるかに上回る参加者数であり、市民の皆様の関心の高さに、ただただ感謝である。

議員が考えの違いを超えて議論を深めるということ。そして、市民により開かれた議会づくりを目指すということ。それには様々な困難が伴うが、今後も議会全体で一丸となって挑んでいければ…と思っている。